

広島国際学院高等学校 同窓会報

第8号 2007年2月28日発行

発行者 広島国際学院高等学校同窓会

(旧広島電機大学附属高等学校同窓会)

広島県安芸郡海田町蟹原2-8-1 Tel 082-823-3401

http://www.hi.hkg.ac.jp/index.html

印刷/ 株式会社 広島毎日広告社

母校創立八十周年を 迎えるに当たって



会長 竹内正彦(S34卒)

母校は創立八十周年を今年秋を迎えることになりました。八十年という歴史の中で、私が広島電機高校の生徒であった時期はほんのわずかですが、人生の中で一番多感な青春時代を送った思い出多い母校です。当時、勉学にだけ励んだか、スポーツにだけ力を入れたかは、定かではありませんが、先生方に一生懸命ご指導いただき、たくさんの友といろいろな交友を深めました。今でも同級生と昔話をすれば、あの当時の童顔になり、話に花咲き、先生の教えが今蘇り、恩師の温かさ、統率力に改めて感謝の気持ちがわいてきます。

私の学生生活の沢山の思い出の中で最も印象深く残っているのは、西本五郎教頭(現名誉学院長)から、受けた多くの教えです。「いつも夢と希望をもち続けて」と。



母校の正門



校旗

時代は流れて、制服も変わり、も増え、長い歴史の中に新たな一ページが生まれました。先日は、文化祭を拝見させていただきました。時代を先取りした教育や文化活動を知り、立派なのに驚きました。

私たち同窓生はこれからは、学校と一体となり、八十年の歴史、伝統を守りながら次の時代を拓く学校であり続けるための努力をしていきたいと思います。創立百年に向けて「夢と希望を持ち続け・・・」広島国際学院高等学校のさらなる発展を祈念致します。

思い出の校旗と校章



来賓の西本名誉学院長と長野校長(前列右)

平成十八年度同窓会総会・懇親会が盛大に開催された。総会では、六月十日(土)に突然逝去された住田朋一前副会長のご冥福を祈り、黙祷をささげました。今回の主要議題は役員改選で、岡田民男前会長は相談役に、その他副会長および事務局も大幅に改選されました。続いて、百九十余名を超え



平成18年卒業生のみなさん

北広島町の加計高校芸北分校「神楽部」の生徒さんによる神楽「八岐大蛇」が上演されました。その後の「カラオケ」では、大先輩の懐かしい歌声や新会員の松島広さんを中心にした若者たちの歌が披露され、会場はこの上なく盛り上がり、時間を忘れて楽しい一時を過ごさせていただきました。



加計高校芸北分校生徒による神楽

る参加者を得て、懇親会が行われました。ご来賓には、西本五郎名誉学院長、鶴素直理事長、長野政義校長、荻野次夫教頭をはじめ、多数の先生方にご参席いただきました。今回初めてご家族の方の参加を呼びかけ、奥様方やお子さま連れでも多数参加いただきました。

役員就任に当たって



副会長 林 昭治 (S41電気科卒)

私は同窓会坂支部の幹事をさせて頂いておりましたが、この度、副会長と仰せつかり、大変恐縮しております。我が母校の名前を聞けば人ごとでは無いと思ひ、学校にお邪魔させていただくと、目の前に高校生当時の光景が映し出されタイムスリップいたします。三万余名の同窓生の集いの場である同窓会の副会長とは、私にとっても未知で不安な領域の仕事ですが、同窓会の発展のため、母校発展のために、微力ながら協力させていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

感謝状を贈呈

岡田民男前会長へ

岡田民男前会長は平成六年四月に同窓会会長に就任され、十数年間にわたり会の活性化や組織の充実などの諸問題を抱える同窓会を活気にあふれるものに手腕を發揮されました。



新任役員紹介



副会長 工藤三千代 (S43工業経営科卒)

この度、副会長を仰せつかりました工藤と申します。私ごときが役にたてますかどうか不安で一杯でございますが、諸先輩方の助けをいただき微力ながらお手伝いさせていただきます。光陰矢の如しと申しますがこのお役をいただくにあたり船越に在りました校舎、当時の先生方、同級生の皆様の姿が、走馬灯のように懐かしく思い出され、私も歳を取ったのだと改めて思ひ知らされた気がいたしました。今後は、同窓会発展のため一生懸命やらせていただきます。卒業生のみならず、お力をお借りしております。



副会長 山藤千代美 (S53商業科卒)

この度、副会長に就任することになりました山藤と申します。同窓会の副会長という重責を拝命し戸惑いを感じております。女性会員として同窓会の発展、活力のある同窓会となりますように微力ではありますが精一杯務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願い致します。

生徒・教職員の心はひとつ

高校野球全員応援



一塁側スタンドに陣取った応援団

夏の全国高校野球広島大会一回戦、本校は全校生徒、教職員あがっての野球応援を企画した。「連帯・感動・母校愛」をキーワードとして、本校初の試みを長野政義校長の英断によって実現した。七月十四日、広島市民球場一塁側スタンドは本校生徒・教職員・保護者千五百人による大歓声で埋まった。

昨年度は、郵便貯金ホールにおいて、全校生徒が、本校吹奏楽部の素晴らしい演奏を聴き、言葉では表しがたい感動を体験した。今年約二時間のスポーツの

ツドラマであったが、生徒・保護者・教職員が心を一つにできたことは、何にも代え難い貴重な体験であった。「感動は成長の原点」とする本校の教育指針は様々の形で具現化されている。

◆少子化の波受けず

オープンスクール 千六百人集う

九月二十四日(日)、抜けるような青空の下、本校のオープンスクールは開催された。県内各中学校からの訪問客(中学生・保護者)は実に千六百人に及び、校内は熱気に包まれた。多すぎた体育館に収容しきれず、二組に分けて、教職員全員と、協力してくれる生徒二百四十人で懸命に接待した。昨年もほぼ同数の参加者であったが、ここ数年本校の参加者数は常に千人を超え、他校を圧倒的にリードしている。オープンスクール参加者と受験者数・入学者数の相関関係は高い。ここ数年、本校入試の志願者数は県下のトップであることがほとんどであり、入学者もほとんどの年で定員を超えている。伝統ある本校にさらに磨きをかけ、今後も本校に対する生徒・保護者の信頼を維持していくためには、教職員が心を一つにして、さらに優れた教育内容を作り上げていかなければならない。



体育館を埋めつくした中学生

◆豪・英姉妹校との国際交流

本校と海外姉妹校との国際交流は十一年前に始まった。オーストラリア姉妹校訪問は夏休み前に、五年前から始まったイギリス姉妹校訪問は春休みに実施している。昨年はイギリスから二度目の訪問を受けた。今年三月のイギリス訪問は定員十二名に対し、二十四名が応募するという人気ぶり。一九九九年からは長期留学生を主にオーストラリアから受け入れている。本校生徒や教員宅にホームステイし、授業に出て本校生徒との交流を深めた。昨年十二月、オーストラリアから六年ぶり、二度目の来校。先生二名、生徒九名が一週間の日程で平和学習、神社・寺院訪問や美術、書道、茶道、剣道等の授業を通して日本文化を肌で体験した。また、食文化にも興味を示し、お好み焼きなどにも舌鼓を打った。彼らは幼い頃から日本語を勉強しているのだから、日本語と英語が飛び交い、笑い声が絶えなかった。本校では、外国人英語教師を常駐させ、英会話授業にも本格的に取り組み、一方、校務分掌の中に「国際交流室」を設置し、二十世紀に通用する国際人を育成すべく前向きに努力している。

「嵐が丘」の舞台となったハワースにて



◆躍進するクラブ活動

★女子ゴルフ部

橋田源太郎教諭の熱血指導のもと、近年めきめきと力をつけてきたゴルフ部。六月の広島県高校総合体育大会においては五年連続団体優勝を勝ち取った。個人において特筆すべきは法崎佳成子選手(普通科二年生)。

中国地区代表として本校初の全日本アマチュア選手権大会に出場した。また、十一月に開催された中国ジュニア選手権大会新人大会において、岡山勢を押さえて見事優勝の栄光に輝いた。来年度の更なる飛躍を期待したい。



法崎選手

★自転車競技部

「広島国際学院に三宅あり」と全国の自転車競技関係者にその名を知られた三宅良彦教諭の指導のもと、自転車競技部の活躍は今年度も相変わらずだ。春の中国大会では団体三位に食い込み、秋の新人戦では見事県大会団体優勝を果たした。個人では野中竜馬選手(総合システム科一年生)が強い。総体での二冠、中国大会での二冠、秋の広島県新人戦での四冠、今のところ中国地区では敵なし。最終学年となる来年度は全国制覇も夢ではない。



先頭が、野中選手

★吹奏楽部

本校「文化部の華」はなんといっても吹奏楽部。その実力は広島県下で常にトップクラス。あちらの中学、こちらの地域と演奏依頼がひっきりなし。楽しいパフォーマンスも飛び出す演奏はどこでも大好評。中国大会四年連続金賞(八月・広島市)中国高校吹奏楽まつり(十一月・広島市)で県知事賞(最優秀賞)を獲得した。

感動の吹奏楽コンサート

幹事長 藤田準二(S41卒) この度、初めて母校吹奏楽部の演奏会に行かせていただきました。演奏を聴いて予想もなかった素晴らしい感動を得ることができました。県下ではトップクラスと聞いていただけに、「すばらしい」の一言に尽きると思えました。会場の厚生年金ホールは超満員、前席の女性の方は、感激のあまり涙を流しながら聴いておられました。その姿はいまだに忘れられません。マーチング演奏、一糸乱れぬ体勢での演奏、歌謡曲のメドレー演奏など、盛り沢山の演奏に吸い込まれあつと言う間の三時間でした。吹奏楽部の皆さんこれからも練習に励まれ素晴らしい演奏を聴かせてください。ご健闘をお祈りいたします。



第18回定期演奏会

自動制御設備・設計施工・ハーネス製作・パソコン教室
FUJITA ENGINEERING
株式会社 藤田エンジニアリング
代表取締役 藤田 準二 (昭和41年機械科卒)
〒739-1733 広島市安佐北区口田南1丁目8-47
TEL (082) 843-2305(代)
FAX (082) 842-6989
E-mail fujita1@enjoy.ne.jp

広島県公安委員会指定
広島労働局長登録教習機関
公認 テクノ自動車学校
代表取締役 竹内 正彦 (昭和34年機械科卒)
〒731-4213 広島県安芸郡熊野町5640-1
電話 082-854-4000(代)
0120-39-1859

無線中継システム
防災、消防無線、設計施工
マツデン
MDS 松電産業株式会社
会長 岡田 民男 (昭和30年卒)
社長 山下 次昭
〒731-4213 広島市西区楠木町1-7-7
TEL 082-234-5050
FAX 082-234-8256

卒業生頑張る

「ツール・ド・北海道」
「アジア大会」



31 西谷泰治さん(H11電気科卒)

本校自転車競技部において活躍した西谷泰治さん(坂町出身)が、九月に開催された日本で最も権威のある自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」において見事総合優勝を果たされました。また、西谷さんはアジア大会(カタール・ドーハ)にも日本代表として出場され、4km個人追い抜き競走で見事、銀メダルを獲得されました。

「読売巨人軍」が指名

プロ野球育成ドラフト



隠善智也さん(H15総合システム科卒)

本校野球部出身の隠善智也さん(東広島市出身)が今年度のプロ野球ドラフト会議において「育成ドラフト」選手(外野手)として読売巨人軍から指名を受けました。同選手は本校野球部の中心選手として活躍後、広島国際学院大学に進学。広島六大学で活躍し、以前より巨人軍からマークされていました。本校初のプロ野球選手誕生を期待しています。

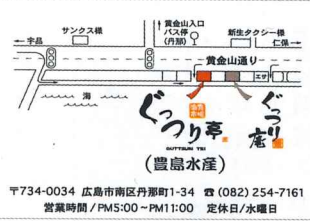
先輩のうまい店



北尾 哲さん(S60機械科卒)



ぐつすり亭の北尾 哲さんは、瀬戸内海のちようど中央に位置する豊島の出身。父さんが漁師で北尾 哲さんの経営する豊島水産の活魚を美味しく食べさせてくれる。店内には巨大な水槽があり、豊島の急潮で鍛えられた魚には脂がのり、身が丸々として豪快な活魚料理が味わえる。気取らない雰囲気です。店の前にはライトアップも見えます。



支部だより

安浦支部総会・懇親会

(平成十八年七月八日)

会長 大森俊治(S35卒)

七月八日、安浦支部総会が十二名出席のもとで開催されました。同窓会より副会長、事務局長の二名が出席し、副会長より同窓会の近況報告、事務局が学園の近況報告をしました。その後、安浦支部の今後の発展と組織の拡大についての意見を交わし、盛大な懇親会に移りました。



先輩のうまい店

教えて下さい。

卒業生が経営している食事処をご紹介します。経営されている卒業生のお名前とお勧めの自慢のメニューを記載して事務局まで投稿下さい。



同窓会事務局
TEL 082-823-3401

熊野支部総会・懇親会

(平成十八年十一月十一日)

熊野支部事務局
荒谷忠治(S43卒)

紅葉景色の筆の都で熊野支部総会が、来賓の竹内会長および役員の出席をいただき、山吹支部長の挨拶を皮切りに開催されました。今回から始めた坂支部との交流で折出坂支部副会長にも参加いただきました。総会では、支部役員



坂支部総会・懇親会

(平成十八年九月九日)

支部幹事長 林昭治(S41卒)

同窓会坂支部は平成ケ浜公園においてグランドゴルフ大会を行い、その後、第十六回総会を開催しました。総会には、竹内会長、村上副会長、奥田副会長、藤田幹事長、事務局より土居常任幹事に出席いただきました。そして、今年から支部間の交流を図るべく、山吹熊野支部長にもご参加を依頼いたしました。竹内会長にご祝辞をいただき、盛大に行うことができました。続く懇親会は、藤田幹事長の乾杯の音頭で始まり、泊二日の親睦旅行の計画やグランドゴルフの成績発表、そして全員参加のビンゴゲーム、最後にカラオケと楽しい一時を過ごしました。



同窓会・地域支部

()内支部長

- 坂 支部 (大本幹夫 S29卒)
- 安浦支部 (大森俊治 S35卒)
- 安佐支部 (川口勝明 S36卒)
- 山県支部 (市田義臣 S36卒)
- 山口県支部 (広瀬恒顕 S31卒)
- 熊野支部 (山吹富邦 S44卒)

同窓会・OB会

()内会長

- 自動車部 (徳野 誠 S47卒)
- 野球部 (三木節雄 S36卒)
- 卓球部 (益田道弘 S45卒)
- 山岳部 (京才 昭 S37卒)

同窓会・職域

()内会長

- 電消会 (野村 忍 S50卒)
- (市消防)

同窓会・同期会

()内会長

- 43卒げんき会(佐々木克巳 S43卒)

明治ブリックパック
株式会社メイジ・トダ
〒736-0035 広島県安芸郡海田町日の出町1番5号
TEL代表(082)823-2259
FAX (082)823-2265

よりよい素材で
おいしいパン作りを
株式会社
ナガヤペーカリー
本店 〒731-4314
広島県安芸郡坂町坂西一丁目20-5
☎(082)885-0375
ペーカリー・プティ・グー・フジグラン安芸店 ☎(082)885-4654
ペーカリー・プティ・グー・フジグラン熊野店 ☎(082)854-4533
ペーカリー・プティ・グー・Aコープ熊野団地店 ☎(082)855-4277
★当社のパンは一切防腐剤を使用しておりません。

広島駅南口より徒歩3分!絶好のアクセス!
各種パーティから、
挙式・ご披露宴まで
ホテルセンチュリー21広島
支配人 藤田一男(昭和44年普通科卒)
婚礼受付 ☎(082)263-3113
広島市南区の場町1-1-25 URL: http://www.century21.gr.jp

◇同窓会総会へ 多数の参加を!

元事務局長 土居茂 (S41卒)
皆様におかれましては各方面
でご活躍のこととお慶び申し上
げます。

今年、母校は創立八十周年を
迎えます。皆様方が卒業された
母校は大きく発展しております。
母校の発展は卒業生にとって
この上ない喜びであります。
老若男女を問わず一堂に集い
縦横の絆を深めることが同窓会
の大きな意義でもあります。

次回の総会には是非ご 参加ください。

学生当時の思い出話に花を咲
かせ、現在の母校の姿を知って
いただく中で皆さんとともに母
校をしっかりと支えていく決意
を確認したいと考えています。
どうか校友とお誘い合わせの
上、多数ご参加ください。

次回はみんなで総会に行ってみよう!

平成19年度
同窓会総会・懇親会の御案内
日時 平成19年6月23日(土)
PM6時より
場所 ホテルセンチュリー21広島
(広島駅前大橋側)
申込み 広島国際学院高等学校内
同窓会事務局 082-823-3401

同窓会役員紹介

平成18年度 同窓会役員	局長	竹内正彦 (昭34年 機械)
副会長	村上範美 (昭36年 機械)	
	林昭治 (昭41年 電気)	
	奥田幸一 (昭43年 電気)	
	工藤三千代 (昭43年 経営)	
	山藤千代美 (昭45年 商業)	
	藤田準二 (昭41年 機械)	
幹事局長	久保一彦 (昭40年 機械)	
幹事書記	末永幹夫 (昭43年 電気)	
	長延公平 (昭61年 普通)	
	竹上力 (昭50年 普通)	
会計監査	細井市川 (昭40年 電気)	
	市川豊 (昭58年 普通)	

同窓会新幹事紹介

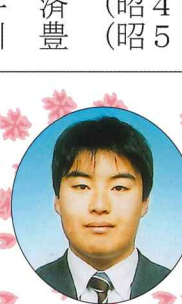
平成十八年度卒業生の百田靖
豊さん、反田響さん、渡部且
子さんの三名が新たに同窓会の
幹事に加わりました。



渡部 且子
(普通科6組)



反田 響
(普通科4組)



百田 靖豊
(総合システム科1組)

先輩、「私たち
が私たちが
先しく、私
ましく、私
願いた。宜
しいです。しく
ります。お

学園短信

事務局長 久保一彦 (S40卒)

創立八十周年を間近に控えて、
高校では元気な男女の生徒たち
千四百名(ほぼ男女同数になり
ました)の声と笑顔が溢れてい
ます。文化祭は雨天にもかかわらず
多くの来校者がありました。
催物の中では一学年十二クラ
スが競い合った合唱祭は圧巻で
した。保護者の方々の参観も多
く、十分楽しんでいただけたよ
うで拍手と歓声が湧き上がりま
した。約一ヶ月にわたるそれぞ
れのクラスの取り組みでしたが、
始業前の校舎からは生徒たちの
歌声が流れてさわやかな学園情
緒がありました。

一学期の体育祭でも、生徒た
ちの熱演が繰り広げられました。
恒例となった男子生徒のマスゲ
ムや女子生徒のダンス、男女に
よる盆踊りやフォークダンスな
どで楽しく盛り上がりながら、

最終種目のクラス対抗リレー決
勝が全校の視線を集めました。
学校行事、クラブ活動などに
臨む生徒たちの懸命さは、鶴虎
太郎先生、生誕百三十五年を受
け継ぐものといえましょう。勿
論、学習にも力を入れています。
卒業生の皆さんも母校に足を運
んでいただき、学園創立八十周
年にさしかかる現在の母校の姿
を御覧下さい。時と形を異にし
ていますが、生徒たちの懸命な
姿の中に当時の青春の姿が重な
りあうのではないのでしょうか。

●同窓会報への広告 掲載について

同窓会報に広告を掲載して会
報の充実を図ります。掲載依頼
が御座いましたら広島国際学院
高等学校内 同窓会事務局まで
ご連絡下さい。
電話〇八二一八三三三四〇一

◇◇編集後記◇◇

第八号の同窓会報発行にあた
り新たに編集委員会を組織しま
した。メンバーは、役員五名、
事務局他四名と学校から荻野教
頭に参加いただき十名でスタ
トしました。

学校と同窓会が一体になって
母校を支えていくためにも同窓
会報は重要な役割があると思い
ます。同窓生の声を反映した編
集を基本に今後も紙面を充実し
ていこうと思います。

発刊にあたり取材や原稿依頼
に協力いただいた同窓生・教職
員の皆様に厚くお礼申しあげま
す。

同窓会報編集委員長
副会長 奥田幸一 (S43卒)

筆の都熊野で
卒業生の絆を

広島国際学院高等学校
同窓会 熊野支部

支部長 山吹 富邦 (昭和44年機械科卒)
副支部長 立花 耕造 (昭和37年機械科卒)
福垣内隆宏 (昭和39年機械科卒)
幹事長 有村 義彦 (昭和41年工業計測科卒)

スポーツ & ENJOY

K.Kスポーツ

代表 北川 賢三 (S37年度 機械科卒)

〒730-0847 広島市中区舟入南1丁目7-19
TEL 082(232)7225 FAX 082(232)7241

結成16年
毎年1回支部総会実施

同窓会 坂支部

同窓生在学生支援事業
全国大会出場にお祝い金贈呈
坂支部有志によるゴルフコンペ

会長 大本幹夫(昭和29年卒)
副会長 折出二三雄(昭和32年電気科卒)
連絡先 幹事長 林 昭治 082-885-1376